松山市の DX 進捗状況と今後の取り組みについて

Ⅰ　本市の令和5年度の DX の進捗状況

1. 市民・地域の DX

1)行政手続きのオンライン化　　（単位：手続（累計））

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	－	100	289	489
実績	65	129	466	**768**

※令和5年10月から県と県内16市町が共同で同一システムの運用を開始し、
さらに行政手続きのオンライン化を推し進める

2)デジタルデバイド対策

①スマホ教室　　（単位：人（累計））

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	－	200	400	800
実績	0	200	609	**963**

②地域コミュニティの DX 推進
活動にデジタル技術を取り入れたいと希望する団体を、計画から実行まで伴走型で支援。
SNS で情報を発信するほか、LINEで情報共有や日程調整し、効率化。
実績：4団体（まちづくり協議会3団体、高齢クラブ連合会1団体）

3)市民向けアプリの導入

①マイ・タイムライン防災アプリ・・・令和5年4月1日運用開始
紙で作成していたマイ・タイムラインをデジタルで簡単に作成できる。
②健康アプリ・・・令和5年7月12日運用開始
高齢者を対象にイベントへの参加や目標歩数の達成、健診の受診などでポイントが貯まり、
そのポイントは道後温泉別館 飛鳥乃湯泉で利用できるほか、電子マネーと交換できる。

4)リモート道路台帳システム・・・令和6年3月25日運用開始
本市の道路台帳情報をインターネット上に公開し、来庁せずに道路台帳平面図を確認できるようにしたほか、窓口で路線を検索する時間が短縮され、市民サービスが高まった。

5)都市計画証明発行システム・・・令和6年1月29日運用開始
目視で行っていた都市計画証明の確認事項をシステム上で行えるようにし、
申請者の待ち時間が短縮された。

6)ライブ映像119・・・令和5年4月1日運用開始（実証実験）
通常の119番通報に映像を加え、さらに正確な情報をリアルタイムに伝えられるようになり、
迅速で的確な消防活動に生かせた。

2. 産業の DX

1)ドローンやウェアラブルカメラを活用した現場作業の効率化

令和5年度中に検証し、今後の利用拡大を検討した。

①ドローン

現在目視で行っている沖合の防波堤や漁港施設の点検、農地の営農状況の確認で実証実験を行い、有効性を確認できた。実績:4回

②ウェアラブルカメラ

体に取り付けて撮影するカメラなどを使って、遠隔で工事現場の施工状況などを確認(遠隔臨場)。工事受注者へウェアラブルカメラを無償で貸し出し、事業者からも好評で有効性を確認できた。実績:13 業者へ貸し出し

2)農業 DX の推進

①傾斜地が多い中山間地域などで、遠隔操作できる草刈機の効果を検証し、有効性を確認できた。実績:実証実験を 2 地区で実施

②マッチングアプリを生かし、興居島地域で農家の人手確保を支援した。

実績:90件のマッチングが成立

③生産者の思いを効果的に伝えるため、ライブコマースを実施した。実績:3 回実施

3)介護 DX の推進

①介護認定審査会委員の利便性を高め、事務を効率化するため、要介護認定審査会の一部をオンラインで開催し、本格的な運用開始に向け検討が進んだ。実績:10回

②介護現場の負担を軽減し介護人材を確保するため、AI ケアプラン操作体験会を行い、普及拡大するほか、課題などを把握した。また、介護ロボットや介護ソフトの説明と体験会を開催し、DX関連機器を周知啓発できた。

実績:AI ケアプラン操作体験会1回実施、介護ロボット・介護ソフト説明・体験会1回実施

4)中小企業 DX の推進

①DX・デジタル化推進補助金(DX 推進枠)

急速に変化するビジネス環境に対応するため、DX を進める市内中小事業者に、システムや機器導入に係る経費の一部を補助した。実績:3事業者

②DX・デジタル化推進補助金(デジタル枠)

国が実施している IT 導入補助金に松山市が上乗せで補助し、業務の効率化を進める市内中小事業者を支援した。実績:62 事業者

3. 行政のDX

1)AI・RPA の推進

(単位:件(累計))

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	−	8件	35件	55件
実績(件数)	7件	29件	46件	**60**件

※削減時間(単年度):令和3年度 3,320 時間、令和4年度 4,891 時間
令和5年度 6,898 時間

2）登園管理システムを生かした業務効率化・・・令和5年12月1日運用開始
公立幼稚園にシステムを導入し、より確実に園児の管理や教諭間の情報共有が行えるようにするなど、教諭の事務負担を軽減した。

Ⅱ　令和6年度の新しい DX の取り組み

1. 市民・地域のDX

1）キャッシュレス決済の拡大
令和6年7月から医事薬事課、生活衛生課、衛生検査課、都市生活サービス課、建築指導課の5つの窓口で先行導入。
令和6年12月から、各課窓口やスポーツ施設、公民館、公立保育所など86カ所で開始し、市民サービスを高める。

2）位置情報サービスを生かした通学車両 DX…令和6年5月20日以降、順次運用開始。
スマートフォンでリアルタイムに、車両位置を確認したり、アプリを使って乗車キャンセルできるようにし、保護者や教員の負担を軽減する。

3）スマホの個別相談窓口を設置…令和6年6月3日運用開始
本日付で、株式会社愛媛CATVとデジタルデバイド対策の連携協定を締結し、愛媛CATVのケーブルショップにスマホの個別相談窓口を設ける。

4）口座振替申し込みのオンライン化・・・令和6年10月 1 日運用開始予定
税金など公金納付の口座振替をオンラインで申し込めるようにし、市民サービスを高め、業務を効率化する。

5）道路パトロール支援システムを生かした業務の見える化・・・令和7年1月6日運用開始予定
スマートフォンの位置情報アプリを利用し、路面状況、パトロール、修繕履歴、市民通報情報を総合的にデジタル管理して、見える化し、業務を効率化と市民サービスを高める。

2. 産業の DX

1）農業 DX の推進
①農業研修でデータ記録型温度計などスマート農機に触れる機会を提供し、導入を促す。
②防災重点ため池1カ所に民間事業者の協力で、監視カメラと水位計を試験的に1年間設置し、ため池の遠隔監視を検証する。
③ドローンを生かした農薬散布や農地調査で作業負担を軽減する。

2）介護 DX の推進
①市の取り組みを広く発信するため、市ホームページに介護 DX に関するページとして介護 DX プラットフォームを公開し、体験会などの周知や先行導入事例を紹介するなど、介護事業所の導入検討に向けた機会を充実させる（令和6年4月公開）。

②介護現場の負担を軽減し、介護人材の確保や介護サービスの質を高めるため、ケアプランデータ連携システム説明・体験会を開催し、さらに普及拡大を進める。また、施設長などを対象に講演会を開催し、導入への理解を深める。
6月：愛媛県国保連合会や国保中央会と連携し、介護事業所の関心が高い「ケアプランデータ連携システム体験会」
8月：松山市コミュニティセンターで「介護ロボット・介護ソフト説明・体験会」
出展事業所を増やすなど、内容をさらに充実させ、一般の高齢者も参加してもらえるよう「eスポーツ体験」や「認知機能の測定」ブースなども設ける。

3. 行政の DX

1）最高情報統括責任者（CIO）補佐官を2名に委嘱

各部局にヒアリングを実施して、現状分析と課題把握を行い、デジタル化施策に提案や助言を行う。また、次期デジタル化戦略を策定するため支援や人材育成に関する研修を実施する。

2）SNS 分析からのデジタルコンテンツ施策展開

ソーシャルリスニングツールを生かし、全国のX（旧Twitter）ユーザーが感じる松山市のイメージや市の事業に対する声を取りまとめ「見える化」する。また、その声を分析し、ニーズに応じたデジタルコンテンツを展開する。

3）生成AIの活用・・・令和6年7月運用開始予定

昨年度実施した試験導入の結果から、生成AIの業務への有効性や業務の効率化などが確認できたため、庁内向けにサービスを導入し、全庁での活用を推し進める。

問い合わせ先

内容	課名	電話番号（担当者名）
DX 全般に関すること	デジタル戦略課	948－6976（御手洗、高市）
マイ・タイムライン防災アプリに関すること	市民防災安全課	948－6795（竹場、宇野）
健康アプリに関すること	長寿福祉課	948－6408（岡田、田中）
道路台帳及び都市計画証明に関すること	都市生活サービス課	948－6472（西村、沖田）
通学車両 DX に関すること	学校教育課	948－6746（松田）
ライブ映像119に関すること	通信指令課	926－9202（久藤）
道路パトロール支援システムに関すること	みち水路メンテナンス課	948－6471（松田）
農業 DX に関すること	農林水産振興課	948－6192（大西）
介護 DX に関すること	介護保険課	948－6840（松本、上田）
中小企業 DX に関すること	ふるさと納税・経営支援課	948－6783（近藤）
SNS 分析に関すること	シティプロモーション推進課	948－6877（鈴木）